



第 63 回全日本トランポリン & タンブリング競技選手権大会

実 施 要 項

主 催	公益財団法人日本体操協会
主 管	秋田県体操協会
後 援	秋田県 大館市 秋田県教育委員会 大館市教育委員会 (公財)秋田県スポーツ協会 大館市スポーツ協会 東北体操協会 秋田県トランポリン協会 大館市トランポリン協会 (予定)
協 賛	TISI 株式会社 ミズノ株式会社
期 日	2026 年 11 月 19 日 (木) ～ 11 月 22 日 (日)
競技日程	11 月 19 日 (木) ポディウムトレーニング・審判本部会議 11 月 20 日 (金) SYN 予選・DMT 個人予選・TRA 予選 1 11 月 21 日 (土) TRA 団体決勝・TUM 個人予選・TRA 予選 2・SYN 決勝 11 月 22 日 (日) DMT・TUM・TRA 決勝 トランポリン: TRA シンクロナイズド: SYN タンブリング: TUM ダブルミニトランポリン: DMT
会 場	タクミアリーナ (大館市樹海体育館) 〒017-0031 秋田県大館市上代野字八幡岱 29 番地 4 TEL. 0186-43-7136
競技規則	公益財団法人日本体操協会制定「2025 年度版トランポリン採点規則」に則る
使用器具	トランポリン ・ FIG 認定器具 ユーロトランポリン (4mm x 4mm テープベッド) ・ FIG 公認 HDTS オールインワン測定システム (Eurotramp 社製) タンブリング ・ SPIETH Way III ダブルミニトランポリン ・ FIG ユーロダブルミニトランポリン (6mm x 6mm)
表 彰	優勝: 優勝杯・賞状・メダル / 2 位、3 位: 賞状、メダル / 4 位～6 位: 賞状 ※表彰式は 1 位～3 位までとし、4 位～6 位については大会終了後に授与します

参加資格

- ・ トランポリン
 - 第 63 回全日本トランポリン & タンブリング競技選手権大会の予選を通過した男女それぞれ 65 名+地元枠選手 2 名
 - ※シンクロナイズド競技は、予選会にて選出された選手同士のペアとします
- ・ タンブリング・ダブルミニトランポリン
 - 第 63 回全日本トランポリン & タンブリング競技選手権大会の予選を通過した男女それぞれ 24 名

参加料

- ・ TRA/TUM/DMT 個人競技 15,000 円/人
 - ・ SYN 競技 15,000 円/ペア
 - ・ TRA 団体競技 10,000 円/チーム
- ※ TRA/TUM/DMT で複数種別に参加する選手は、2 種別目から種別ごとに 7,500 円

競技方法

<トランポリン>

- ・ 予選 1 は自由演技を 2 本行い (上位の点数を採用)、上位 24 名が予選 2 に進出
- ・ 予選 2 は自由演技を 1 本行い (0 点スタート)、上位 8 名が決勝に進出
- ・ 決勝は自由演技を 1 本行い (0 点スタート)、決勝の得点で順位を決定

<シンクロナイズド競技>

- ・ 予選 2 は採用しない
- ・ 予選は自由演技 2 本を行い (上位の点数を採用)、上位 8 ペアが決勝に進出
- ・ 決勝においては自由演技を 1 本行い (0 点スタート)、決勝得点で順位を決定

<トランポリン団体競技>

- ・ 同所属団体 個人予選 1 の上位 3 選手の有効得点の合計により、上位 5 チームが決勝に進出
- ・ 各チームは 3 名で構成され、試技順は予選得点合計の低い団体から演技を行う
- ・ 予選得点の低いチーム順に、各団体の試技順 1 番の選手すべてが演技を行う (ラウンド 1 とする)。同様に試技順 2 番、3 番と演技を行い合計 3 ラウンドで競う
- ・ 順位に従ってランキングポイントを付与し、合計得点で順位を決定

ポイント表

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
10	8	6	5	4

<タンブリング・ダブルミニトランポリン>

- ・ 予選 2 は採用しない
- ・ 予選は 2 本の自由演技を行い、上位 8 名が決勝に進出
- ・ 決勝 1 は自由演技を 1 本行い、上位 4 名が決勝 2 に進出 (試技順はそのまま)
- ・ 決勝 2 も自由演技を 1 本行い、決勝 2 の得点で順位を決定

- トランポリン
- 申込方法
- <https://jga-web.jp> にて申込を行ってください
 - 第1次申込
 - 予選通過者 65 名のみ申込を行ってください
 - 第2次申込
 - 第1 申込終了後に 65 名に達しなかった場合、男女それぞれが 65 名になるまで繰り上げしますので、専用ページにて申し込みを行ってください

<注意事項>

- 第1 次申込、第2 次申込を通じて 65 名を決定し、その後リザーブ 5 名を決定します
- 予選当日であっても、棄権が発生した場合、会場にいるリザーブ選手は優先順位に従ってマーチイン 10 分前まで参加する権利を得ることができます。そのため、怪我などで参加できないことが分かった場合は、大会開催前であっても速やかに大会運営委員会までお知らせください
- シンクロナイズド競技の申込方法については、各ペアで 1 つの枠を使用し、以下に従って入力してください
- 複数種別に渡って申し込みをする選手で、ダブルネームを採用する選手は、すべての申し込み内で表記を統一してください

入力例

- 性別<全角スペース>選手名 01<全角スラッシュ>選手名 02<全角スペース>クラブ名

例 1	同じクラブ同士のペア	男子 協会太郎／協会次郎
例 2	他クラブとのペア	女子 協会華子／協会花子 日本トランポリンクラブ
例 3	他クラブとのペアで ダブルネーム	女子 協会華子／協会花子 体操協会クラブ／協会大学 ※前の選手のダブルネームは個人の時に記載しておく ※後のクラブ名は他クラブ選手のダブルネーム

受付期間

第1 次申込：2026 年 9 月 17 日 (木) ～ 25 日 (金)

第2 次申込：2026 年 9 月 26 日 (土) ～ 27 日 (日) (繰上選手用)

※原則、繰上選手は 9 月 26 日 (土) 8:00am までに協会の大会情報ページにて公開しますが、それまでに棄権が出た場合には都度掲載をします。

タンブリング • <https://jga-web.jp> にて申込を行ってください

ダブルミニ • 予選通過者 24 名のみ申込を行ってください

申込方法

<注意事項>

- 申込締め切り時に 24 名を決定し、その後リザーブ 5 名を決定します
- 予選当日であっても、棄権が発生した場合、会場にいるリザーブ選手は優先順位に従ってマーチイン 10 分前まで参加する権利を得ることができます。そのため、怪我などで参加できないことが分かった場合は、大会開催前であっても速やかに大会運営委員会までお知らせください
- 複数種別に渡って申し込みをする選手で、ダブルネームを採用する選手は、すべての申し込み内で表記を統一してください

受付期間

申込：2026 年 9 月 21 日 (月) ～ 25 日 (金)

振込期限 JGA-Web の支払い期限に合わせて支払いを完了してください

全種別共通 ※ 期限までに振込がない場合は、参加申込書が無効となります

※ 期限以降の変更による大会参加費の返金はいたしません

プログラム用顔写真 本大会のプログラムには、参加選手全員の顔写真を掲載しますので、申込締切までに <https://x.gd/Loejnl> に画像ファイルを送信してください

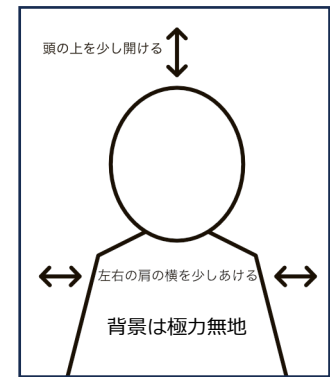
締切: 9月25日(金)(繰上選手は9月27日(日))

- 直近の写真で、顔だけではなく胸から上の写真
- 実際の証明写真サイズよりも大きなサイズ
 - 引伸ばしにより画像が荒れないこと
- スマホは写真の解像度が高いため、できる限りスマホでの撮影を推奨
- ファイル名は「**種別_所属団体名_選手名**」を日本語で入力ください (パソコン)

例) TRA_体操協会クラブ_日本太郎.jpg (アンダースコアで区切ってください)

※ トランポリン: TRA タンブリング: TUM ダブルミニトランポリン: DMT

※ 複数種別に出場する選手はいずれかを記載



帯同審判 本大会出場選手の所属団体は、以下の内容に従って公認審判員 1 種（国際審判員を含む）の帯同のご協力をお願いします

- 1～10 名の参加選手がいる団体: 1 名
- 11 名以上の参加選手がいる団体: 2 名

帯同できない場合、運営本部において審判員を依頼しますので、選手 1 名につき 5,000 円の負担をお願いします。

- 11 名以上の団体で 1 名のみ帯同できる場合、10 名分の帯同審判料を免除 (例 選手 15 人 帯同 1 名の場合: $15 - 10 = 5$ 名 $\times$ 5,000 円 = 25,000 円)
- 11 名以上で 2 名の審判を帯同する場合の帯同審判料はすべて免除
- 複数種別への参加の選手については、2 種別目から種別ごとに 4,000 円

※ 帯同審判は予選・決勝を含む期間を通して従事できる方に限ります

※ 帯同審判員は、2026 年以降本会主催・共催大会での審判実績の保有者もしくは、公認審判員講習会・研修会(国際体操連盟主催のものを含む)を受講した方のみとさせていただきます

※ 他の参加団体が帯同している審判員を帯同することはできません。依頼の際は必ずご本人に確認をして下さい

※ 他の種別の資格を有している場合、重複して帯同させることができます

AD 申請

2024 年度より、全日本選手権における「指導スタッフの資格義務づけ」により、競技エリア（ウォームアップエリアを含む）で指導を行う場合、「日本スポーツ協会 公認コーチ 3 以上（以下、JSPO 公認コーチ 3）」の資格が必要となります。これまでの「JGA 公認トランポリンコーチ資格（JGA コーチ資格）」のみを有する方に対し AD 発行はいたしますが、競技エリアには入場することはできません。また、スポッターであっても競技エリア内にて指導を行う場合には JSPO 公認コーチ 3 を有していることが必要となりますので、主旨をご理解いただき各所属団体でも周知徹底をお願いいたします。

- AD カードは一人 1 枚のみ発行ですので以下に従って申し込みをしてください
 - 大会に参加している選手は申請しないでください
 - スポッター、トレーナーは「選手以外」としての登録が必要です（選手登録をしている場合でも、選手以外に登録が必要）

	コーチ	スポッター	トレーナー
トランポリン	2	2	1
タンブリング	2	--	1
ダブルミニトランポリン	2	--	1

- 複数種別に出場する選手がいた場合でも、種別ごとに AD カードは発行せず、1 人に 1 枚のみ発行となります
- 選手が出場していない種別で AD カードは申請できません

コーチ	「JGA コーチ資格」を有する者で、各所属団体に対して 2 名分発行します。ただし、「JSPO 公認コーチ 3」の資格を有する者のみ、所属選手の演技グループごとに競技エリア内に入ることができます
スポッター	「JGA コーチ資格」を有する者、または「所属での指導者登録」を完了している者で、所属選手の演技グループ毎に競技エリア内に入場できます。ただし、「JSPO 公認コーチ 3」の資格がない場合は指導できません。TRA のみ男女選手がいる場合は 4 枚発行します
トレーナー	「所属での指導者登録」が完了している者で、 <u>医療関係者、資格所有者、または日常的にトレーナーとして従事している方で、治療、応急処置ができる方に限ります</u> 。競技中は指定場所で待機し、治療などを要する場合は指示に従って選手への対応をしていただきます。男女選手がいる場合は 2 枚発行します

- 現状、スポッターについては競技エリアには入ることが可能ですが、指導を行うには資格が必要であることを認識してください
- 競技中、可能な限り有資格者のコーチがマットを持つようにしてください
- タンブリング・ダブルミニトランポリンのコーチ資格講習が存在しないため、この種別のコーチは上記の限りではありません

ドーピング
について

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です
2. 本競技会参加者(18 歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール 手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する **18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持ち参り携帯**して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) のウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>) からダウンロードできます。18 歳未満の競技者はドーピング 検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に 再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合 には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認して下さい

撮影許可証	- ビデオ撮影およびカメラによるスチール撮影につきましては、<u>各所属団体</u>に最高2枚の撮影許可をいたします(2種別以上に出場していても最高2枚)。ただし、1名が2台以上の機器を同時に操作しての撮影は禁止します(許可証1名分につき1台とします) - 大会当日の撮影許可証の新規作成・再発行とも行いませんのでご注意ください - 原則、所属選手の演技撮影を主としますが、公序良俗に反する撮影が行われた可能性があると思われる場合、プライバシーの侵害とみなし、その場でデータの確認・削除、退場、および然るべき機関への通報を検討します
大会保険 怪我について	- 協会の費用負担にて、参加選手に対して練習日午前9時以降、競技終了までスポーツ傷害保険をかけます - 発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。 - 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません - 保険適用内での怪我などが発生した場合、必ず救護にて必要書類を提出してください。提出がない場合、後日怪我などの報告をいただいても対応しかねますので、十分ご注意ください - 大会参加者は健康保険証を持参してください
演技写真撮影 について	本大会は記録のため写真および映像を撮影します。協会が定める競技者規定第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。 また、出場選手の記録のため、写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。業者は決定後参加者に連絡いたします。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます
広告協賛	大会情報ページからお申し込みください 申込：https://forms.cloud.microsoft/r/HvKnqjRApS 広告データは以下にアップロードしてください データ送信：https://x.gd/ofjrx
お願い	大会要項掲載時点、または申込締切までの間に、すでに棄権を予定している選手については(引退、怪我など)、出来る限り早めに以下のリンクから棄権のご連絡をお願いします。早めにご連絡いただくことで繰り上げ選手が準備を進めることができますので、ご協力の程よろしくお願い致します https://forms.gle/BRWoD9W7Fpvtw6xp6
お問合せ	- メールでのみ受け付けます。お返事までに数日いただくことがありますのでその旨ご了承ください - 携帯のメールアドレスからお問合せの場合、以下のアドレスからメールを受け取れるよう設定してください 公益財団法人 日本体操協会 大会運営委員会 (トランポリン) trampoline@jpn-gym.or.jp